

作成日：西暦 2024 年 10 月 19 日(第 1 版)

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：低体重女性における骨格筋量と栄養状態の観察研究 性別・年齢との比較

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1．研究の対象

2022-2024 年度職員健診で低体重(BMI<17.5)を指摘され、藤田医科大学病院栄養評価外来に紹介された患者(2022 年 11 月 1 日から 2024 年 11 月 30 日までに初診で受診された方で男女含む)

2．研究目的・方法・研究期間

現在、モデル体型として若い女性の間でシンデレラ体重という言葉が飛び交っています。シンデレラ体重とは BMI 18 の人を指しますが、一般的には低体重とされる体重です。しかし、若い女性の低体重は社会問題になっており、不妊、将来の糖尿病発症、骨折などのリスクを抱えることとなります。しかし普通は病院受診のきっかけが無いので、実態は不明な点が多いです。そのため、当院の検診で BMI<17.5 の方を対象に、栄養状態、ビタミン欠乏症の頻度、体組成について調査してきました。今回は 2022 年度から 2024 年度の 3 か年について調査します。方法は、カルテを用いて下記の情報を収集し、ビタミン欠乏の比率、低栄養の重症度、体組成の実態について調べます。なお、若年女性に加えて、男性や中年女性のデータも収集し、異なる年代、性別とも比較します。期間は研究が承認されてから、2027 年 3 月 31 日までです。

3．研究に用いる試料・情報の種類

情報：

- 性別、年齢、身長、体重、BMI、
- 20 歳時の体重と BMI
- 体脂肪率、骨格筋量、内臓脂肪指数 (Inbody で測定)、骨格筋指数 (骨格筋量と身長より計算)
- 食品摂取頻度調査の結果 (総エネルギー、各栄養素摂取量、食品摂取の頻度、朝食欠食の有無、食品摂取の多様性得点 (DVS) のような多様性の指標)

- 骨密度（大腿頸部、椎骨 L1-L4）（骨密度は栄養評価外来で初診後 3 年以内に測定したものを含む）
- 下記検査データ（健診時及び栄養評価外来初診時から 6 ヶ月以内）
 検診データ（受診時に持参）及び初診時から 6 ヶ月以内の血液検査データ（血算及び白血球分画、リンパ球数、総コレステロール、トリグリセリド、HDL コレステロール、アルブミン、プレアルブミン、FT4、TSH、ビタミン B1、B12、葉酸、25OH ビタミン D、ナトリウム、カリウム、クロール、カルシウム、リン、クレアチニン、BUN、eGFR、HbA1c、CRP、血糖、HbA1c）
- 骨密度（大腿頸部、椎骨 L1-L4）（骨密度は栄養評価外来で初診後 3 年以内に測定したものを含む）
- 併存疾患（低栄養の鑑別で新たに分ったものを含む）
- 内服薬
- 月経異常の有無

観察時期：2022-2024 年度健診後二次検診受診後（検診から大体 6 ヶ月以内）。

観察期間：健康診断後に健康管理部より紹介受診され、採血結果が全て判明した時点。

4．外部への試料・情報の提供

外部への情報の提供はありません。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5．研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学 臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

6．除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。さらに、研究への不参加あるいは途中で参加を取りやめることによって、勤務評定などにおいて不利益な取扱いを受けることはありません。

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 臨床栄養学講座

担当者：飯塚 勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp